

鳥取県日野川工業用水道事業の紹介

○事業の趣旨

米子，境港両市を中心とする中海地区新産業都市の基盤整備の一環として，低廉で豊富な工業用水を安定して供給する目的で実施されたもの。

○事業の経緯

昭和38年度より計画給水量160,000m³/日で事業実施し，昭和43年度から一部給水を行っている。

今後の工業用水の需要量増加に対応するため平成11年度から新たな取水施設等（計画給水量40,000m³/日）の建設に着手し，平成14年度から運用を開始している。

平成19年度における給水実績は13,607千m³で，県内の公営企業による総供給量の7割強を占めている。

○事業の特徴

鳥取県西部に位置する全長約77km県内三大河川の一つである日野川は，中国山脈に源流を持ち名峰大山の裾野を流れ雄大な日本海へと続いている。上流域では清流にしか生息しないと言われるオオサンショウウオ，カジカガエルが見られる。このように清らかな日野川を水源としているため濁度値が低く，優れた水質を保っている。

○日野川工業用水道事業HP

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=27414>

○ユーザーの概要

(平成20年3月31現在)

業 種	給水件 (社)	契約水量 (m ³ /日)
製紙業，水産加工業，下水処理場，発泡スチロール製造業，洗濯業等	84	49,500

○工業用水道施設の概要

貯 水 源	菅 沢 ダム	有効貯水量 1,720万m ³ ，昭和43年3月完成	
取 水 施 設	取 水 設 備	取水井 12(12)基，表流水取水樋門 1(1)基	
	取 水 ポンプ	水中ポンプ 10(9)台【うち3台予備】	
	沈 砂 池	2(2)池	
導 水 施 設	導 水 管	φ900mm，延長 1,434(1,434)m	
浄 水 施 設	沈 殿 池	2(2)池	
	濁質処理施設	排泥池 2(1)池，濃縮層 2(1)基，天日乾燥床 3(3)池，脱水機 1(0)基	
送 水 施 設	送 水 本 管	φ450mm，延長 3,142(3,142)m	
	送 水 ポンプ	4(2)台【うち1台予備】	
配 水 施 設	配 水 池	有効貯水容量 14,400m ³ 4(3)池 1,000m ³ 1(1)池	加圧ポンプ 7(0)台
	配 水 本 管	φ1,350~200mm 延長 50,859(26,422)m	配 水 支 管 φ600~75mm 延長 40,033(31,784)m

() 内は，平成20年4月1日現在の整備済の数値を示す。

